

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	政治・経済	担当教員	中村史信			
学年学科	3年 A学科	開講時間数	通年2時間	必修	単位数	2単位
学習・教育目標	(A-1) 100%		JABEE 基準 1 (1) (a) 50%、(f) 50%			
授業の目標と期待される効果： この授業では日本と世界の政治・経済をめぐる諸問題について総合的に学習する。具体的な目標は以下の通り。 ①政治・経済の基礎知識をかためる。 ②社会問題を論理的に考察し、説明する力を養う。 ③異文化や多様な価値観、また国際問題への理解・関心を深める。 ④「現在」に対する複眼的な見方を養う。			成績評価の方法： 以下の総得点500点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験100点＋期末試験100点＋課題提出50点 後期：中間試験100点＋期末試験100点＋課題提出50点			
			達成度評価の基準： 以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 ①政治・経済についての正しい知識を習得したか。 ②授業内容を論理的に考察し、説明する力がついたか。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心が深まったか。 ④「現在」に対する複眼的な見方がついたか。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は教科書と板書を使用した講義形式で行う。授業中には随時質問を交え、学生の積極的な発言を求める。「政治とは何か?」「世界とは何か?」「社会をどのような視点から眺めるのか?」このような問いを自らに投げかけ、自分の視野を時間的・空間的に広げてほしい。受講者の興味・関心を喚起するような書籍や画像・映像資料を提示し、時事問題に関する解説も加えていく。						
教科書および参考書： 『政経資料集』（東学）を教科書とし、その他必要に応じてプリント等を配布する。						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：イントロダクション						
第 2 回：法と国家（1）						
第 3 回：法と国家（2）						
第 4 回：近代政治の成立（1）						
第 5 回：近代政治の成立（2）						
第 6 回：大日本帝国憲法						
第 7 回：日本国憲法（1）成立・趣旨						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：日本国憲法（2）国民の権利						
第 10 回：日本国憲法（3）改憲論争						
第 11 回：現代の政治（1）政党・内閣						
第 12 回：現代の政治（2）選挙						
第 13 回：現代の政治（2）住民運動・行政改革						
第 14 回：地方自治						
第 15 回：裁判所						
期末試験						
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期
第17回：市場経済のしくみ（1）
第18回：市場経済のしくみ（2）
第19回：戦後の日本経済（1）高度経済成長～石油危機
第20回：戦後の日本経済（2）安定成長～バブル崩壊
第21回：国民経済と国際経済
第22回：現代社会の諸問題（1）大きな政府・小さな政府
第23回：現代社会の諸問題（2）少子・高齢化社会
第24回：中間試験
第25回：現代社会の諸問題（3）労働問題
第26回：現代社会の諸問題（4）公害・環境保護
第27回：国際社会の諸課題（1）国連
第28回：国際社会の諸課題（2）安全保障・領土問題
第29回：国際社会の諸課題（3）南北問題
第30回：国際社会の諸課題（4）民族紛争
第31回：国際社会の諸課題（5）グローバリゼーション・ローカリゼーション
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）